

とやま

市議会だより

TOYAMA CITY ASSEMBLY

No.87

令和7年 6月定例会

発行日 令和7年(2025年)8月20日

発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 / FAX 443-2196

ホームページ <https://www.city.toyama.lg.jp/>

メールアドレス gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

詳しい情報は、
ホームページをご覧ください。

富山市議会

検索



富山市議会
ホームページ



市立探偵ペロリッチ

主な内容

6月定例会の概要、可決した主な議案等	2
会派別賛否一覧、委員会・諸会議等	3
常任委員会	4
一般質問	6
議会中継、会議録等	10
令和6年度 政務活動費	11
議場見学、9月定例会の日程等	12



みんなで咲いたら、うれしい。

富山市の草花：ひまわり

神通川緑地のヒマワリ畑【令和6年8月撮影】
ヒマワリプロジェクトについてはこちら ▶



令和7年6月定例会の概要

47億3,846万余円の補正予算等を可決

令和7年6月富山市議会定例会は、6月9日から6月30日まで22日間の会期で開かれました。
令和7年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて25議案が原案のとおり決まりました。

定例会の日程

6月9日	本会議（提案理由説明ほか）
6月13日	本会議（一般質問） 6人
6月16日	本会議（一般質問） 7人
6月18日	本会議（一般質問） 6人
6月19日	本会議（一般質問ほか） 2人 予算決算委員会（前期全体会）
6月20日	予算決算委員会分科会（経済教育）・経済教育委員会
6月23日	予算決算委員会分科会（厚生）・厚生委員会
6月24日	予算決算委員会分科会（建設）・建設委員会
6月25日	予算決算委員会分科会（総務環境）・総務環境委員会
6月26日	予算決算委員会（後期全体会）
6月30日	本会議（委員長報告・討論・採決ほか） 予算決算委員会（前期・後期全体会） 予算決算委員会分科会 （総務環境、厚生、経済教育、建設） 総務環境委員会



提案理由説明の様子

令和7年度予算の6月補正の規模

(円)

	補正前	6月補正額	補正後
一般会計	1,955億7,292万3千	35億6,589万1千	1,991億3,881万4千
特別会計	1,464億9,581万4千	10億1,636万4千	1,475億1,217万8千
企業会計	468億6,460万5千	1億5,620万7千	470億2,081万2千
合計	3,889億3,334万2千	47億3,846万2千	3,936億7,180万4千

可決した主な議案

■予算案件

○7年度富山市一般会計補正予算

- ・定額減税補足給付金（不足額給付）等
- ・物価高騰対策関連事業補助金
- ・旧森家住宅主屋耐震補強工事等
- ・アオハルライドパス作成業務委託料
- ・伝統芸能イベント事業委託料
- ・^{きょうりょう}橋梁耐震計画改定業務委託料

○7年度富山市特別会計補正予算（1会計）

○7年度富山市企業会計補正予算（3会計）

35億6,589万1千円

14億4,492万5千円

1億3,492万8千円

6,954万4千円

4,400万円

3,000万円

2,300万円

10億1,636万4千円

1億5,620万7千円

■条例案件

○富山市まちなかアリーナ条例制定の件

○富山市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定の件

■契約案件

○工事請負契約締結の件

- ・富山市芸術文化ホール（大ホール）
特定天井改修および大規模改修工事



改修工事を行う富山市芸術文化ホール（大ホール）

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

「空き家・空き地対策の推進」を求める意見書（議員提出議案第7号）	国土交通大臣 他7件へ提出
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書（議員提出議案第8号）	経済産業大臣 他5件へ提出
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書（議員提出議案第9号）	内閣府特命担当大臣 （消費者及び食品安全）他6件へ提出

陳 情

審議された結果は、次のとおりです。

市政への要望・意見等がある場合に、市議会に提出する文書のうち、議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といいます。

公共事業における使用機材の納税確認体制の整備に関する陳情	不採択
小型特殊自動車に係る課税の適正化及び市民協力制度（協力金制度）導入の提案に関する陳情	不採択
個人情報保護法に基づく必要最小限の情報収集の徹底および全庁的な運用点検に関する陳情	不採択
市民意見受付制度における個人情報入力要件の運用見直しと再発防止に関する陳情	不採択
所有者不明橋梁 ^{きょうりょう} の安全対策と市民への情報提供に関する陳情	不採択
あはき・柔整広告ガイドラインの適正かつ積極的な運用を求める陳情	不採択
映像表示装置（デジタルサイネージ、LEDビジョン等）設置についての屋外広告物条例改正の陳情	不採択

議案・意見書・陳情の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方：「○」＝賛成 「×」＝反対 ※会派人数は、議長を除いたもの。

件 名	議決結果	富山市議会 自由民主党 (14人)	自由 民主党 (5人)	公明党 (4人)	立憲 民主党 (3人)	会派 誠政 (2人)	日本 共産党 (1人)	太政 (1人)	政風会 (1人)	気鋭 (1人)	政策フォー ラム32 (1人)	日本 維新の会 (1人)	未来を つくる (1人)	みどり (1人)	参政党 議員会 (1人)
議案 第90号 令和7年度富山市水道事業会計補正予算 (第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第91号 令和7年度富山市公共下水道事業会計補正 予算(第1号)	原案 可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第96号 富山市高度利用地区における固定資産税の 不均一課税に関する条例の一部を改正する 条例制定の件	原案 可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第99号 富山市まちなかアリーナ条例制定の件	原案 可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第102号 富山市水道事業給水条例等の一部を改正す る条例制定の件	原案 可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案 第8号 米国の関税措置に対応した中小企業等支援 策の拡充を求める意見書	原案 可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
議員提出議案 第9号 地方消費者行政に対する恒久的な財源確保 等を求める意見書	原案 可決	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○
議員提出議案 第10号 高額療養費制度見直しの丁寧な検討等を求 める意見書	否決	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
令和7年分 陳情第19号 映像表示装置（デジタルサイネージ、LED ビジョン等）設置についての屋外広告物 条例改正の陳情	不採択	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。

また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

日付	委員会等	協議事項等	日付	委員会等	協議事項等
5月 9日	議会運営委員会	・ 6月定例会の運営 ・ 意見書提出要請の請願の取り扱い	6月 2日	議会運営委員会	・ 意見書提出要請の請願の取り扱い ・ 質問順序 ・ 一般質問
	正副委員長会議	・ 委員会運営 ・ 委員会視察	6月 9日	議会報編集委員会	・ とやま市議会だより (No.87)
5月12日	議会関係事務説明会	・ 議会関係事務説明	6月10日	議会運営委員会	・ 6月定例会の運営
	市政説明会	・ 市政説明	6月18日	委員長会議	・ 議案等の委員会付託
5月13日	市政説明会	・ 市政説明	6月19日	議会運営委員会	・ 会派から提出された意見書(案) ・ 決議(案)
5月22日	各派代表者会議	・ 令和8年度富山市の重点事業 ・ 仮議長の選任	6月24日	議会運営委員会	・ 追加議案 ・ 意見書・決議 ・ 議員派遣の件 ・ 本会議の進め方
	建設委員会	・ 富山市上下水道事業経営審議会からの 答申	6月30日	委員長会議	・ 委員会審査結果等の確認
5月23日	市施設見学会	・ 市施設見学		議会報編集委員会	・ とやま市議会だより (No.87)
6月 2日	議案説明会	・ 6月定例会提出予定案件の概要	7月 8日	議会報編集委員会	・ とやま市議会だより (No.87) の 発行

(7月8日現在)

予算決算委員会

7年度富山市一般会計補正予算など6件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

総務環境分科会



7年度富山市一般会計補正予算2件について、審査した。

企業・団体向け脱炭素化設備等導入補助事業

委員 本事業は2050年までのカーボンニュートラル実現に資する事業だと思うが、どのような周知方法を考えているのか。

市 本事業は、本市が5年度から企業向けに実施している脱炭素セミナーの参加を補助要件としている。これまでのセミナー参加者への直接周知や、7年8月に開催予定のセミナーの案内と併せて、本事業の案内を実施する予定としている。

加えて、市およびチームとやましのホームページでの周知のほか、今年度のセミナーに協力いただく金融機関からも周知いただけることになっている。

委員 本事業による効果と申請件数をどのように見込んでいるのか。

市 省エネ診断は中小企業・団体等の脱炭素経営のきっかけになるものと考えており、省エネ設備を導入することで、年間1トン以上のCO2排出量の削減を見込んでいる。また、5年度、6年度のセミナーで20社弱に参加いただいております、ある程度の需要はあると考えている。

厚生分科会



7年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

鎮魂花火実施事業

委員 本事業は、民間事業者が実施している納涼花火において、戦後80年を機に鎮魂花火を打ち上げるとのことだが、民間事業者に補助金を出すというものなのか。

市 本事業は、地元新聞社が実施する納涼花火の皮切りとして、富山市民感謝と誓いのつどい実行委員会が鎮魂花火を1発打ち上げるものである。実行委員会に対して補助を行うもので、地元新聞社に補助を行うものではない。

経済教育分科会



7年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。

メタバース活用事業

委員 本事業を利用する児童生徒は何人と想定しているのか。

市 現在、最大500名までアカウントを登録できるシステムを考えているが、先行して実施している自治体を見ると、常時接続は最大で10名程度と想定している。

委員 今回、本事業に対応する会計年度任用職員を1名配置するとあるが、メタバースを利用する児童生徒を10名程度と想定しているのであれば、教育相談等に対応する職員は1名でよいと思うが、想定を超えた場合は、対応できないのではないのか。

また、利用する児童生徒がメタバース上の空間に入った際に対応されないことでショックを受けて、今後メタバースを利用しなくなることも考えられる。メタバースでの相談に対応する職員は1名で問題ないのか。

市 本事業については、学校現場から教育センターの電話相談対応として派遣されている指導主事を、今年度から1名増員していることから、開設時にメタバースに対応する職員としては2名体制でスタートしたいと考えている。また、必要に応じて、臨床心理士等も対応できる体制を取っていきたいと考えている。

建設分科会



7年度富山市一般会計補正予算など4件について、審査した。

地域拠点等動的データ分析事業

委員 人流等分析システムによる動的データを活用することのことが、具体的にどのようなデータを取得することができるのか。

市 スマートフォン等のGPS位置情報を用いた動的データを活用するもので、例えば鉄道駅や商業施設などを登録することで、その施設の利用者数、性別、年齢構成、居住地などに加え、周辺道路における自動車交通量についても把握することができる。

また、このような動的データは最大で5年間さかのぼって取得することができる。

総務環境委員会

富山市駐車場条例の一部を改正する条例制定の件など7件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情3件については、「不採択」すべきものと決した。

【その他の主な審査の概要】

- ・議案第96号 富山市高度利用地区における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定の件について、討論があった。
- ・令和7年分陳情第12号 公共事業における使用機材の納税確認体制の整備に関する陳情、令和7年分陳情第13号 小型特殊自動車に係る課税の適正化及び市民協力制度（協力金制度）導入の提案に関する陳情、令和7年分陳情第14号 個人情報保護法に基づく必要最小限の情報収集の徹底および全庁的な運用点検に関する陳情について、市から説明があった。

【所管部局からの報告事項】

○企画管理部

- ・オリジナルロゴマーク
- ・使用料（営利加算分）の請求漏れ

厚生委員会

富山市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情1件については、「不採択」すべきものと決した。

【その他の主な審査の概要】

- ・令和7年分陳情第17号 あはき・柔整広告ガイドラインの適正かつ積極的な運用を求める陳情について、質疑等があった。

4ページから5ページの報告の内容（質疑、討論、意見の表明を含む）につきましては、富山市議会ホームページ「会議録等の公開」からご覧いただけます。



◀委員会等の審査の概要と結果

正副議長および各委員会委員の構成につきましては、富山市議会ホームページ「議員、委員名簿」からご覧いただけます。



◀正副議長および各委員会の委員

経済教育委員会

工事請負契約締結の件（山室中部公民館移転改築工事）など2件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情1件については、「不採択」すべきものと決した。

【その他の主な審査の概要】

- ・令和7年分陳情第15号 市民意見受付制度における個人情報入力要件の運用見直しと再発防止に関する陳情について、市から説明があった。

【所管部局からの報告事項】

○教育委員会

- ・月岡幼稚園および月岡保育所の統合に係る今後の日程等

建設委員会

富山市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件など3件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情2件については、「不採択」すべきものと決した。

建造請負契約締結の件（消防艇建造）

委員 新たに建造する消防艇の性能について、現在の消防艇や他の自治体が所有している消防艇と比較し、どのような評価をしているのか。

市 現在の消防艇が総トン数35トンであるのに対し、新たに建造する消防艇は19トン級と小型化することにより、迅速性と機動性を図ることとしている。

また、現在の消防艇の推進器はプロペラ式だが、ウォータージェット式とすることで、最高速力が時速33キロメートルから時速55キロメートルとなり、災害現場への到着時間を短縮できると考えられる。

加えて、航海機器についても、現在の消防艇にはない最新の装備を搭載することにより、安全な運航が図られると考えている。

さらに、波や風の影響下でもGPSにより自動で船舶の位置を維持することができる定点維持装置を取り付けることとしている。

【その他の主な審査の概要】

- ・令和7年分陳情第16号 ^{きょうりょう}所有者不明橋梁の安全対策と市民への情報提供に関する陳情、令和7年分陳情第19号 映像表示装置（デジタルサイネージ、LEDビジョン等）設置についての屋外広告物条例改正の陳情について、質疑等があった。

【所管部局からの報告事項】

○上下水道局

- ・契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約

上下水道料金の改定

横野 昭（富山市議会自由民主党）



問 料金改定について、どのように市民の理解を得ていくのか。

答 7月下旬から10月下旬にかけて市内11会場にてタウンミーティングを、11月には富山国際会議場にて市民公開講座の開催を予定しているほか、今年度から年3回程度、上下水道局が独自に広報誌を発行する予定である。さらに9月には各種相談受付や情報発信機能等を備えた「（仮称）お客さまサービスステーション」を市役所西館2階に設置する予定であり、こうしたさまざまな取り組みを通じて説明責任を果たしていきたい。（上下水道事業管理者）

【質問項目】
▼藤井市長2期目に向けた市政運営 ▼ニューヨーク訪問
▼上下水道料金の改定



若者の市外流出に対する処方箋（若者に対するさまざまな取り組み）

金谷 幸則（富山市議会自由民主党）



問 若者のシビックプライド醸成に向けてSNSによるショート動画の活用が効果的であると考えているが、市長の見解は。

答 市では、職員が出演したショート動画を3月に制作し職員採用専用ホームページで公開するなど動画を活用した情報発信を強化している。今後は、年齢等の属性からターゲットを絞りアプローチすることができるインターネット広告を活用するなど、インターネットでの情報発信により、特に若い世代へシティブロモーションとシビックプライドの醸成の両面から効果的かつ効率的にアプローチしていきたい。（市長）

【質問項目】
▼若者の市外流出に対する処方箋



地域農業における課題と対応策

高田 真里（富山市議会自由民主党）



問 本市が取り組む今後の地域農業を担う農業者への支援は。

答 市では家族経営等の小規模な農家が大半を占めている。若者の農業離れによる後継者不足が顕著となっており、理由の一つに機械設備の導入や更新に多大な経費が必要となることが挙げられる。親元就農等により将来的に地域の農業を担う後継者に対し、農業機械の導入や更新に係る経費の一部を支援する事業を補正予算案として提案しており、国や県の補助対象とならない小規模な農業後継者の支援により担い手の確保につなげていきたい。（農林水産部長）

【質問項目】
▼合併20周年記念事業 ▼人口減少・少子化対策
▼のりもの語り教育 ▼地域農業における課題と対応策 ▼政策監



福祉支援（放課後等デイサービス利用者）

柏 佳枝（公明党）



問 高校卒業後の福祉サービスや相談ができる窓口の周知が必要では。

答 放課後等デイサービスの利用者は、ライフステージの変化に伴う新たな環境に適応する必要があるため、同サービス利用中から卒業後に受けることができるサービスの情報を得て、卒業後の生活に備えることが重要と考えている。そのため、相談支援専門員や放課後等デイサービス事業者などの関係機関と連携を図り、利用者に対する高校卒業後の福祉サービスや相談事業所などの周知に取り組み、切れ目のない支援に努めたい。（こども家庭部長）

【質問項目】
▼福祉支援 ▼授乳室やおむつ交換スペースの情報発信
▼リチウムイオン電池など発火性危険物の回収
▼中小企業等経営強化法に係る固定資産税の特例措置



地区防災計画策定における地域の防災士の活用

金岡 貴裕（自由民主党）



問 地区防災計画の策定を進めるために、地域の防災士を活用すべきと考えるが、見解は。

答 地区防災計画とは、地区内の住民や事業者等が共同で行う防災訓練や防災資機材の整備等の計画であり、住民の危機意識の共有化に重要な役割を果たすと考えている。このため本市では、平成30年度から防災士をアドバイザーとして派遣する事業を行っており、19の地区で計画が策定された。計画策定への地域の防災士の積極的な参画が望ましいことから、引き続き地域の防災士の養成に努めたい。（防災危機管理部長）

【質問項目】
▼自治振興会や町内会の課題と地域コミュニティの活性化
▼地区防災計画策定における地域の防災士の活用



富山市地球温暖化対策推進計画（省エネルギーの推進）

豊岡 達郎（富山市議会自由民主党）



問 「富山市省エネルギー機器等導入補助事業」と「富山市ZEH[※]導入補助事業」の実績と今後の取り組みは。

答 省エネ機器導入補助の6年度実績は、エネファームは3件、ペレットストーブは15件、ZEH住宅取得への補助は9件だった。また、エネファームは今年度から国等の補助金との併用を可能とした。今後は、中小企業等へ省エネ設備導入費用の支援を行うため本定例会に補正予算案を提案したところであり、これら補助制度を工務店へ案内する等、情報発信に努め省エネ設備等の普及を推進していきたい。（環境部長）

【質問項目】 ▼水産業を取り巻く状況 ▼富山市地球温暖化対策推進計画



※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）
…高断熱化や設備の高効率化による省エネルギーと太陽光発電等によるエネルギー創出により1年間で消費するエネルギー収支がゼロ以下になる住宅。

学校施設のバリアフリー化

村石 篤（立憲民主党）



問 災害時の避難所等、地域コミュニティの拠点としての役割を果たす本市の小中学校のバリアフリー化の現状は。

答 本市の小中学校全88校のうち、まず、バリアフリースイールの整備状況は、校舎では約60%の53校で、体育館では約72%の63校で設置を完了している。次に、スロープ等の段差解消は校舎では約59%の52校で、体育館では約72%の63校で設置を完了している。また、エレベーターの整備状況は校舎では約53%の47校で、体育館では約18%の16校で設置を完了している。（教育委員会事務局長）

【質問項目】

▼予算編成 ▼子ども家庭部長の任命 ▼災害関連死
▼生活保護に関わるケースワーカー ▼保育所等の入所
▼学校施設のバリアフリー化 ▼博物館等施設の入館料等



空き家対策

織田 伸一（富山市議会自由民主党）



問 危険な空き家の今後さらなる自主的な除却を促進するため、昨年度に創設した支援制度の適用要件の緩和や地域からの要望への対応など幅広く活用できる支援制度を創設すべきと考えるが、見解は。

答 市では、周辺に悪影響を及ぼす危険性がある老朽化した空き家を所有者が除却する際に費用の一部を助成する「富山市老朽危険空き家等除却事業補助金」を昨年度創設した。今後は、本補助金の活用状況等を見極め、周辺地域への影響を評価項目に追加する等、他都市の事例も参考に調査・研究したい。（活力都市創造部長）

【質問項目】

▼空き家対策



富山市老朽危険空き家等除却事業補助金

地域の居住環境の改善や安全で安心なまちづくりを促進することを目的とし、老朽危険空き家等の除却事業等に要する費用の一部を補助します

補助対象

空家等のうち次に該当するもの

- ・市内にある戸建て住宅や長屋（それぞれの住戸が別個の建築物である場合）、もしくは床面積の2分の1以上が居住の用に供されていたもの
- ・市の調査により、一定水準以上の危険度があると判定されたもの（裏面「補助対象となる危険度の参考」を参照）

補助金額

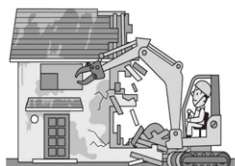
除却工事費の1/2
(補助限度額 50万円)

申請受付期限

令和7年11月28日まで

なお、予算の上限に達し次第、申請の受付を終了することがあります。

申込み先
お問合せ先
富山市 活力都市創造部 居住政策課 空き家政策係
〒930-8510 富山市新桜町7番38号
お電話: 076-443-2113 (市HPはこちら)



富山市老朽危険空き家等除却事業補助金リーフレット

富山県二ホンザル管理計画

藤田 克樹（自由民主党）



問 「加害レベル5」新設の制度提案を県に行うにあたり、近隣市町村との共同要望や広域連携による働きかけが必要と考えるが、見解は。

答 市や町の境界をまたぎ生息する二ホンザルの群れが県内に存在し、この群れの個体捕獲には市や町ごとの捕獲頭数を県を交えて調整する体制となっている。捕獲対策の実施には、県や隣接の市や町との情報共有が不可欠であるため、5月の「ワンチームとやま」連携推進本部会議で捕獲強化の必要性を提言した。引き続き、県や関連の市や町と連携強化等を図っていく。（市長）

【質問項目】

▼富山市民病院におけるこどもまんなか社会の実現
▼富山県二ホンザル管理計画 ▼農業経営の継承支援



プロ野球マイナビオールスターゲーム2026

飯山 勝彦（富山市議会自由民主党）



問 オールスターゲームの開催は、本市にどのような効果をもたらすと考えているか。

答 プロ野球界の一流選手の迫力あるプレーを間近に見て触れる機会は、子どもたちに夢と希望を与え、本市のスポーツ全体の振興に寄与すると考える。また経済波及効果や本市が全国に紹介されるプロモーション効果も期待できるなど、さまざまな効果をもたらすと考えている。何より、能登半島地震からの復興のシンボルとして北陸地方の一体感の醸成と地域の発展につながっていくことを期待している。（市長）

【質問項目】

▼プロ野球マイナビオールスターゲーム2026
▼学校体育施設等開放事業等 ▼ふるさとづくり推進事業
▼地域コミュニティ



障害のある子を持つ親の負担軽減

木地 智美（富山市議会自由民主党）



問 障害のある子どもが利用できる福祉、保育等の一連の流れやサービスの質と量、相談や申請の窓口が分かりにくいことについて、今後どう対応していくのか。

答 本市では、障害のある子どもが利用できる福祉サービスの内容等を障害福祉のしおりや出前講座、市ホームページ等で周知するとともに、こども発達支援室では保護者の相談体制を整備している。今後は、子育て支援ウェブサイト「育さぽとやま」に障害のある子どもの就学手続きに関する情報を掲載するなど、保護者への分かりやすい情報提供に努めたい。（こども家庭部長）

【質問項目】

▼障害のある子を持つ親の負担軽減 ▼特別支援学級
▼本市のジェンダーギャップ解消 ▼富山市郊外の住宅に出没するサル



富山市公式LINE

細川 博徳（公明党）



問 通報メニューに街灯に関する項目があれば便利だと考えるが、見解は。

答 本市が管理する街灯の不点灯等の通報は、維持管理を委託している民間企業が受付窓口となっている。市公式LINEの通報メニューに追加することは、市民の利便性が高まるとともに、本市の安全安心なまちづくりに有益な取り組みになるが、民間委託業者との情報共有化にはセキュリティ上の課題もあるため、システム管理者等と調整を図りながら、街灯に関する項目の追加について検討していきたい。（建設部長）

【質問項目】

▼こどもまんなか社会の実現へ、子育てしやすい環境づくり
▼学校教育 ▼国際交流 ▼富山市公式LINE

神通大橋の架け替え

久保 大憲（自由民主党）



問 過去の経緯、神通大橋の公益性から、県にも事業費の一部を負担するよう働きかけるべきと考えるが、見解は。

答 本事業では100億円を超える事業費が必要と想定しており、このうち55%が国庫支出金、残りが本市の負担となる見込みである。現時点では、本市が県に事業費の一部について負担を求める法令上の規定はないが、神通大橋は災害時にも重要な役割を担う公益性の高い橋梁であることから、事業費の確保や充実等について、今後とも積極的な支援を得られるよう、引き続き国や県に働きかけていきたい。（市長）

【質問項目】

▼市民に寄り添った行政運営 ▼予算編成・政策決定
▼神通大橋の架け替え

本市における生活保護受給

東 篤（立憲民主党）



問 生活保護を必要とする状況にあるが申請していない世帯への取り組みは。

答 本市では生活困窮者自立支援法に基づき、包括的な相談支援を行う自立相談支援事業を富山市社会福祉協議会に委託して実施しており、同協議会の窓口で生活保護制度に関する情報提供を行っている。また、民生委員や福祉推進員といった地域の関係機関とのネットワークを通じて支援を要する世帯の情報を把握した場合には、市職員が直接家庭を訪問し、制度の利用を勧奨するなどの支援を行っている。（福祉保健部長）

【質問項目】

▼利便性の高い公共交通網の確立 ▼本市における訪問介護事業
▼本市における生活保護受給

不二越・上滝線

舎川 智也（富山市議会自由民主党）



問 市内電車が上滝線に乗り入れた場合の潜在的な需要と実現の可能性は。

答 住民アンケートで上滝線の非利用者のうち約39%の方が利用する可能性があると回答している。乗り入れの実現には多額の事業費の確保や潜在的な需要の掘り起こし等に加え、事業者の負担が伴うが、富山地方鉄道鉄道の経営状況は大変厳しいことから、経営の立て直しが急務である。乗り入れの実現は容易ではないと捉えているが、概算事業費の算出や活性化による利用者の需要予測等について、富山地方鉄道とともに検証したい。（活力都市創造部長）

【質問項目】

▼不二越・上滝線 ▼保育人材の確保

高齢化社会の対応（「とほ活」データの利活用）

松尾 茂（公明党）



問 「とほ活」アプリのさらなる利用促進のため、地域の商店と連携した施策が必要と考えるが、見解は。

答 「とほ活」ポイントは市民の歩くことへの意欲を高めることを目的に賞品と交換できる抽選を行っており、賞品は地元協賛企業から提供される商品や本市予算で用意する映画鑑賞券等がある。今後、地元商店等とのさらなる連携強化で新たな協賛を募る等賞品の充実に努めるとともに、商店への来店に対しポイントを付与する等、地域経済との相乗効果を高める地域と連動した取り組みを検討する。（活力都市創造部長）

【質問項目】

▼高齢化社会の対応 ▼教育現場における相談体制
▼災害避難所の環境整備

風と光の塔の管理

江西 照康（自由民主党）



問 風と光の塔を建設当初の状態に戻すことが理想と考えるが、見解は。

答 風と光の塔が設置されている富山駅北地区は、本市のまちづくりの推進に重要なエリアとして再整備を実施しており、シンボルモニュメントとしての役割を改めて認識している。しかし現在、ライトアップや噴水設備等は老朽化により稼働しておらず、建設当初の状態に戻すことについては、より詳細な劣化状況や故障箇所等を把握する必要があるため、今後、設備の劣化状況等の調査を行うとともに適切な修繕方法や維持管理方法等を検討したい。（建設部長）

【質問項目】

- ▼風と光の塔の管理
- ▼家庭ごみ有料化と将来世代への負担に係る検討すべき課題

富山市まちなかアリーナ条例の市総合体育館「廃止」と新利用料金

赤星 ゆかり（日本共産党）



問 民間に運営権が渡された市総合体育館を「まちなかアリーナ」とする条例案の利用料金は、これまでより大幅に高いのではないかと。料金設定の根拠と過程は。

答 5年9月に制定した条例で「利用料金は、公共施設等運営権者が市長と協議して定める」と規定し、一般利用料金は条例で定める上限の範囲内で事業者が定める額とした。上限設定の根拠は、事業者に長期間の運営を委ねるため、物価上昇等を考慮し最大利用料金を基準に市の消費者物価指数直近3年の平均上昇率が設定期間、毎年継続すると仮定した額である。（市民生活部長）

【質問項目】

- ▼上下水道料金問題
- ▼富山空襲の常設展示資料館設置
- ▼公共交通利用促進、富山地方鉄道株式会社への支援
- ▼富山市まちなかアリーナ条例の市総合体育館「廃止」と新利用料金

児童の登下校の安全対策

福田 敏彦（未来をつくる）



問 「富山市通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の危険箇所や安全対策の進捗状況は。

答 通学路の危険箇所は平成28年度から令和6年度までの9年間で1,187件報告されており、3月までの改善状況は、区画線の引き直し等のハード面の対策として457カ所、学校安全パトロール隊等による見守り活動等のソフト面の対策として543カ所が実施済みである。また、主に6年度に報告された残りの187カ所は警察署や道路管理者等の関係機関で対策の検討が進められている。（教育委員会事務局長）

【質問項目】

- ▼児童の登下校の安全対策
- ▼特殊詐欺の被害防止対策

地域公共交通の利便性向上策の内容

野上 明人（みどり）



問 今後、パーク・アンド・ライドのための駐車場の整備予定はあるか。

答 パーク・アンド・ライド駐車場の6年度平均利用率は鉄道線で約70%、幹線バス路線で約62%でおおむね充足している。しかし、JR高山本線千里駅での利用率は高く、枠外に駐車する車両もあり駅利用者等からさらなる駐車場整備の要望があることから、千里駅西側の市有地にパーク・アンド・ライド駐車場を15台分整備する補正予算案を本定例会に提案した。引き続き、需要等を見極めながら新たな整備について検討していきたい。（活力都市創造部長）

【質問項目】

- ▼戦後80年を迎えるにあたり、市長の所感
- ▼地域公共交通の利便性向上策の内容



上：JR高山本線 千里駅 下：千里駅パークアンドライド駐車場

こどもの居場所づくり支援事業

金山 茜（参政党議員会）



問 今年度の予算で事業に係る運営費用を補助する考えがあるのか。

答 本事業は、富山県こどもの居場所づくり支援事業補助金を活用して実施している。県において、事業に係る運営費用は、補助対象としていないため、本市でも現時点において、補助することは考えていない。しかし、不登校などさまざまな困難を抱える子どもが、学校や家庭以外でも安心して過ごせる居場所を継続的に確保していくことは重要であることから、運営費用の補助について、国、県や他都市の動向を注視しながら調査・研究したい。（こども家庭部長）

【質問項目】

- ▼学校給食
- ▼学校教育
- ▼こどもの居場所づくり支援事業

ケーブルテレビでの本会議の生放送

本会議の開催日は、ケーブルテレビ富山および上婦負ケーブルテレビで生放送をご覧いただけます。

ただし、上婦負ケーブルテレビでの放送は、都合により、録画放送になる場合があります。

インターネットでの本会議の 生中継および録画中継



インターネットの録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く）からご覧いただけます。

なお、編集作業等により公開が遅れることがあります。

本会議の会議録



本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

委員会・諸会議の議事録等も、ホームページに掲載しています。

7年6月定例会の会議録は、8月下旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市立図書館（本館）や市役所東館3階の市政情報コーナーで閲覧することができます。

No.67（2年12月定例会号）分からは、とやま市議会だよりのテキストデータ（音声読み上げ対応）版の公開もしています。



請願・陳情（市政への要望・意見）の提出

請願書（議員の紹介あり）・陳情書（議員の紹介なし）を提出される方は、次の要領でお出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨を具体的に記載してください。
- ② 提出年月日、提出者の住所および氏名（法人の場合は名称と所在地、代表者名）を記載し、署名または記名押印の上、議長宛てに提出してください（署名の場合は押印が不要です）。
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- ④ 定例会開会日の正午までに受理されたものを、その定例会で審査・処理しています。

【お問い合わせ】 議会事務局 議事調査課
TEL 443-2158

※議員の連絡先は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

請願（陳情）の書式例

〈表紙〉	〈本文〉
〇〇〇に関する請願書 (陳情書)	〇〇〇に関する請願 (陳情)
	1: 趣旨 2: 理由
紹介議員 (陳情書には不要)	年 月 日
〇〇〇〇 (署名または記名押印)	請願(陳情)者 住所 氏名
	(宛先) 富山市議会議長

全国市議会議長会表彰

第101回全国市議会議長会定期総会が、5月20日に東京国際フォーラムで開催され、表彰状ならびに感謝状の贈呈が行われました。また、これを受けて、6月26日に富山市議会議長から次のとおり表彰状等の伝達を行いました。



特別表彰（議員30年以上）
赤星 ゆかり

議員在職期間
平成7年4月～平成17年3月（旧富山市）
平成17年4月～現在に至る



役員在職感謝状（理事）
横野 昭

理事在職期間
令和6年3月～令和7年4月

次号（No.88）は11月20日発行の予定です。なお、11月上旬ごろに、ウェブ速報版を富山市議会ホームページにて公開予定です。

令和6年度 政務活動費

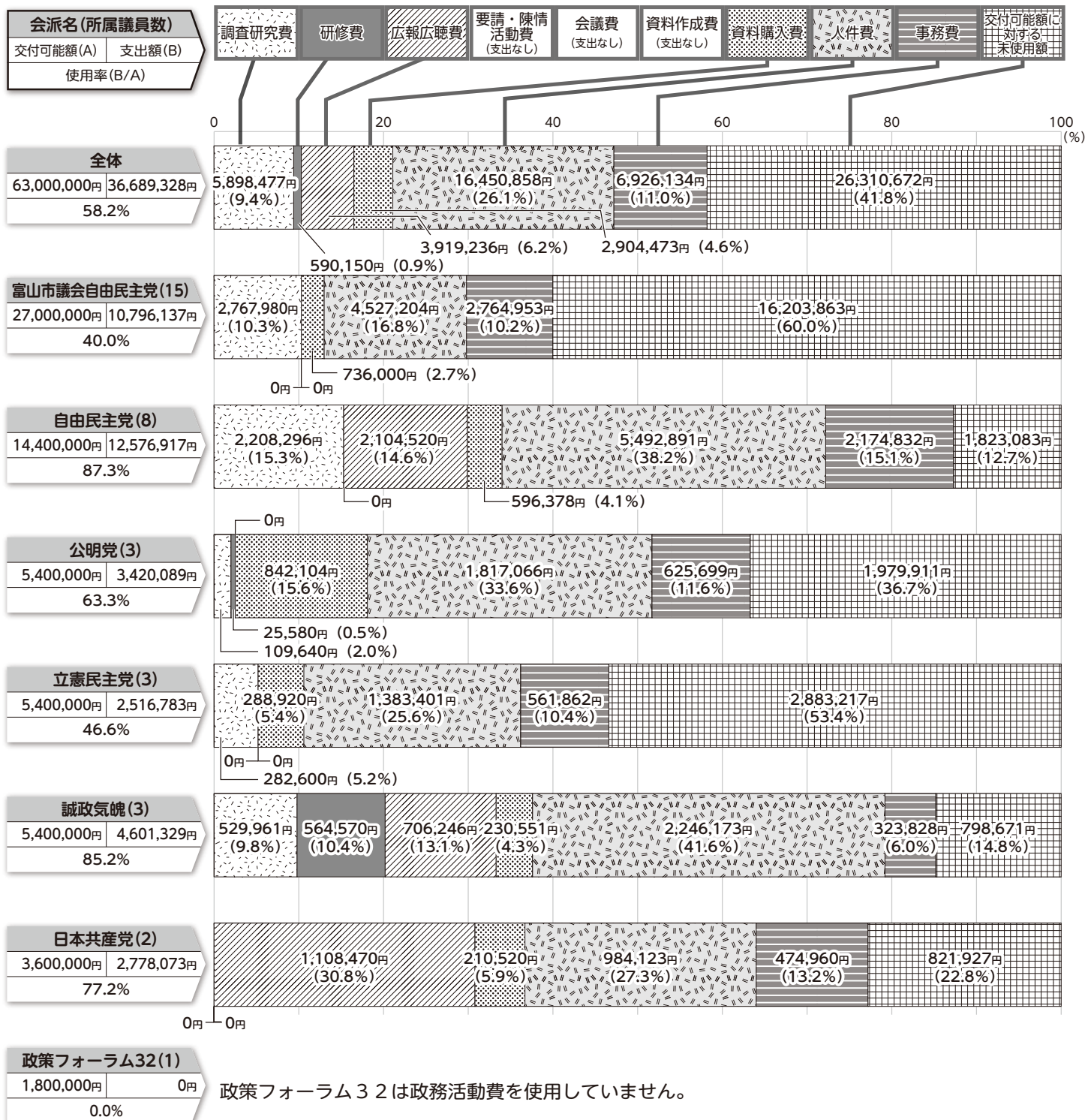
政務活動費は、地方自治法および富山市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているものです（交付可能額：会派所属議員数×月15万円）。

なお、収支報告書と併せて、領収書等の証拠書類のインターネット公開および窓口閲覧を行っています。



政務活動費の使用状況 【令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）】

政務活動費
について



政策フォーラム32は政務活動費を使用していません。

政務活動費は、下記のように使われます。

調査研究費	先進地視察、調査委託等の経費	資料作成費	行政課題の検討等の資料作成に要する経費
研修費	研修会開催、研修会参加等の経費	資料購入費	書籍、新聞、行政資料等の購入に要する経費
広報広聴費	市政報告会、広報紙発行、広聴会等の経費	人件費	会派事務職員を雇用する経費
要請・陳情活動費	国、県等への要請、陳情等の経費	事務費	通信費、事務用品購入等の経費
会議費	各種会議に要する経費		

議場見学

5月26日に芝園小学校6年生111名が、社会科の校外学習として富山市議会の議場見学に訪れました。議会事務局職員から市議会の仕組みや役割、議場内の設備等についての説明を受け、実際に議員や執行部の席に座って、議場の雰囲気を感じました。また、議長・副議長との意見交換を行いました。



傍聴席での様子



議席の氏名標を立てる様子



議場見学を行った芝園小学校6年生の皆さん

議長・副議長との意見交換



議場見学の感想(一部抜粋)

- いろいろな議員の方が話し合い、私たちの生活に関わるさまざまなことやルール等を決めていることを聞いて、改めて「すごいなあ」と思いました。
- 市民が意見を伝えることで、その意見を政治に役立てているということが分かりました。これからの生活では、政治に興味を持ったり、議場に話し合いを聞きに行ったりしたいなと思いました。
- 一番印象に残ったのは、質問するときにモニターに質問をしている人が映ったときです。いつもどのように会議をしているのかがイメージできて、自分も会議に参加したような気分になりました。

編集後記

今回、小学生が議場見学や6月定例会の傍聴に訪れてくれました。当委員会では、皆さまの声に耳を傾け、分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。とやま市議会だよりを通じて、議会をより身近に感じていただけると幸いです。



議会報編集副委員長
木地 智美

次回9月定例会の日程(予定)

9月 4日	本会議 (提案理由説明ほか)
9月 9日	本会議 (一般質問)
9月10日	本会議 (一般質問)
9月12日	本会議 (一般質問)
9月16日	本会議 (一般質問) 予算決算委員会 (前期全体会)
9月17日	予算決算委員会分科会 (経済教育) ・経済教育委員会
9月18日	予算決算委員会分科会 (厚生) ・厚生委員会
9月19日	予算決算委員会分科会 (建設) ・建設委員会
9月22日	予算決算委員会分科会 (総務環境) ・総務環境委員会
9月24日	予算決算委員会 (後期全体会)
9月26日	本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決ほか)

※日程については予定となっております。
最新の日程や傍聴の取り扱いにつきましては、富山市議会のホームページ等でご確認ください。